本時の目標

◎　「やまなし」全文を読み，初発の感想を持つことができる。

・全文を通読して，心に残ったところをまとめて書くことができる。

・「五月」,「十二月」に描かれている情景を説明的にスケッチすることができる。

評価目標・評価方法	評価基準 (+)	評価基準 (0)	評価基準 (−)	フィードバック
(1)　作品の題名に関心を持ち，学習に取り組もうとする。 **観察法** 作品の題名「やまなし」について話し合う場面で，座席表にマイナス・チェック する。	作品の題名に関心を持ち，進んで学習に取り組もうとしている。 ◦先生の話や友だちの発表に耳を傾けて聞こうとしている。 ◦「やまなし」という題から想像したことを進んで発表しようとしている。 ◦先生の話や友だちの発表を聞いて，ノートにメモをしている。 ◦やまなしが作品にどのように描かれているか，さがそうとしている。 ◦実物のやまなしと教科書のさし絵を見比べようとしている。 ◦同意見，つけ足し，違う意見などのハンド・サインをしている。	作品の題名に関心を示そうとしている。 ◦自分から発表しようとせず，友だちの発表を聞いて，同意見のハンド・サインだけを出している。	作品の題名に関心を示さず，学習意欲が見られない。 ◦先生の話や友だちの発表を聞こうとしない。 ◦ハンド・サインをまったくしない。 ◦話し合いに参加しようとする様子がまったく見られない。 ◦作品に関係のない発言をしている。 ◦配られた実物のやまなしを作品との関係でとらえようとせず，ほかの目的で楽しんでいる。	◦題名「やまなし」について興味を示さない児童については，作品と表題とのかかわりの大切さについて教えてやる。 ◦やまなしの実物提示により，作品の内容を想像させて，学習意欲を促すようにする。
(2)　読み取った情景を説明できる絵を描こうとする。 **観察法** この作品に描かれている情景をスケッチ風に絵に描く場面で，机間巡視しながらマイナス・チェックする。	読み取った情景を意欲的にスケッチしようとしている。 ◦「五月」と「十二月」の情景を対照的にスケッチしている。 ◦教科書のさし絵を参考にスケッチしている。 ◦教科書に引いた傍線部をたしかめながらスケッチしている。 ◦「クラムボン」など意味の不明なものは，文字で書いている。 ◦色彩豊かにスケッチしている。	読み取った情景をスケッチしようとしている。 ◦「五月」と「十二月」の情景を混同してスケッチしている。 ◦教科書のさし絵をまねてスケッチしている。 ◦色彩について考えていない。	読み取った情景をスケッチしようとしない。 ◦スケッチしようとする様子がまったく見られない。 ◦作品の情景と関係ない絵をスケッチしている。	◦情景をスケッチできない児童に対しては，作品にでてくる登場人物をたしかめさせる。 ◦スケッチ用紙の設定の意味がわからない児童については，「五月」と「十二月」の情景の違いをたしかめさせる。 ◦情景をスケッチしようとしない児童に対しては，この作品において，イメージを描くことの大切さを教え，励ましてやる。
(3)　本時の授業をふり返って，授業全体への取り組み状況を反省する。 **自己評価法** （多肢選択法 記　述　法）	反省カード 11月6日　　6年2組（　）番氏名（　　） ア　今日の授業はよくわかりましたか。 1. よくわかった　2. だいたいわかった　3. わからなかった イ　今日の授業にしんけんにとりくみましたか。 1. とりくんだ　2. だいたいとりくんだ　3. とりくまなかった ウ　今日の授業で感じたことをかんたんに書きなさい。 ＿＿＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿＿＿			◦教師の観察と自己評価を合わせて評価する。 ◦次時以後の指導に生かす。 ◦ア・イの項目の3が出た場合は個別指導する。